

ふるさと納税(寄付)額前年比激減

沼田市における 2017 年度のふるさと納税(寄付)額は、前年度に比べ 4,700 万円(63%)減と大幅に減少しました。

観光客数も大幅減・「真田丸」終了が影響か

観光客の入込数も前年度に比べ 34 万 7 千人(10.8%)減少しました。これらは、2016 年に TV 放映された大河ドラマ「真田丸」及び市内で開催された「真田丸展」の影響でそれぞれが増えていたものと思われ、終了とともに減少したもので、増やしていくためには新たな努力が必要です。

	ふるさと納税額	観光客入込数
2015 年	16,992,000 円	3,267,560 人
2016 年	74,432,000 円	3,205,387 人
2017 年	27,482,008 円	2,858,114 人



井之川博幸市議

マイナンバーカード証明書コンビニ交付始まるがカード増えず

マイナンバーカードが導入されて 3 年になります。マイナンバーカードで住民票などの証明書をコンビニで交付するサービスも始まりましたが、マイナンバーカードを取得(交付される)する数は、頭打ちになっています。

2017 年度は、12 月サービス開始から 3 月までで、140 件の利用でした。マイナンバーカードの通知は、15 年度に始めた時に 50,470 件で追加が 245 件、16 年度は 427 件、17 年度 361 件で合計 51,503 件です。

マイナンバーカードの交付を申請した数は、15 年度 1,030 件、16 年度 2,566 件、17 年度は 611 件でした。普及率は 8.2%です。

マイナンバーカードは、年金の情報漏えいなど国の機関での情報漏えいが続いており、政府は、現在の住民基本台帳の情報に加え、納税や銀行預金などの情報も将来加えると言っていますが、国民は、個人情報や国が管理することや情報漏えいの不安が大きく、廃止しかありません。

国民健康保険の市独自運営最後の年

2018 年度から国保の運営は広域化され、特に財政的な運営は県が行うことになりましたので、国保税額・率などを市が独自で決めた最後の年度でした。今後は、県への納入額が決められてくるので、その額に見合った国保税額・率になる可能性が大きくなります。17 年度の一世代当たりの国保税は、年 160,643 円でした。基本的には、この額が値上げされるのではないかと心配が出てきます。

	国保基金残高
2015 年度	16,311,699 円
2016 年度	26,261,775 円
2017 年度	221,573,269 円



税滞納者への催告書4,051通、差押予告1,794通

市民税や保険料などを滞納している市民に対する催告書の通知は、4,051 通で、差押予告の通知は 1,794 件でした。

日本共産党市議団は、滞納者に対して、納税相談で事情をよく聞くなどして、できる限り分納などで、無理のない納税ができるよう対応するよう求めています。

17 年度中の新たな分納誓約者数は 117 件、年度末分納誓約数は 1,017 件でした。

また、差押状況は、合計 380 件、95,380,145 円でした。

市委託路線バス利用者数は前年度比減少

市は市内 10 路線の路線バスを関越バスなどに委託していますが、16 年度に比べ利用者は 2,012 人減の 52,866 人でした。井之川議員は、玄関前まで迎えに行く、デマンドタクシーに転換することを要求しています。



現在の乗り合いバス

2018 年 10 月 7 日 No.897
いのさんニュース
 発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519
 井之川博幸議員活動地域版部内資料